

令和7年度生育モニタリングの生育状況(宮城県古川農業試験場)

(令和7年7月22日現在)

1 生育状況

1) 移植栽培(7月18日調査結果)

品種名	耕種概要					生育状況(7月18日現在)										参考
	播種日 (月/日)	苗の種類	移植日 (月/日)	栽植密度 (本/m ²)	基肥 (kgN/10a)	草丈		茎数		葉色		葉数		幼穂形成期		出穂期
						本年値 (cm)	前年比 (%)	本年値 (本/m ²)	前年比 (%)	本年値 (GM)	前年差	本年値 (枚)	前年差 (枚)	本年値	前年差	前年値 (月/日)
だて正夢	4/15	稚苗	5/10	18.5	5.0	79.5	100	451	94	33.8	-3.1	12.2	+0.5	7/7	-3	8/5
金のいぶき	4/15	稚苗	5/10	18.5	5.0	84.7	106	499	88	33.6	-0.2	12.6	+0.6	7/7	-6	8/7

2) 直播栽培

品種名	耕種概要						生育状況(7月22日現在)										参考		
	種類	播種方式	播種日	播種量※ 乾燥籾(kg/10a)	基肥 (kgN/10a)	草丈		茎数		葉色		葉数		幼穂形成期		播種～出芽揃い		出穂期 (前年 値)	
						本年値 (cm)	前年比 (%)	本年値 (本/m ²)	前年比 (%)	本年値 (GM)	前年差	本年値 (枚)	前年差 (枚)	本年値	前年差	本年値 (日間)	前年差 (日間)		
ひとめぼれ	乾田直播栽培	グレーンドリル鎮圧	4/9	5.4(+0.3)	11.0	84.3	104%	596	88%	37.7	0.6	10.5	-0.8	7月17日	+6日	53	+18日	8/2	

※1「乾田直播栽培」は前年値がないため前年値との比較

2 栽培管理等

1) だて正夢・金のいぶき

- 基本的な管理は、「ひとめぼれ」に準じて実施する。
- 「金のいぶき」は、いもち病に弱いので、殺菌剤系の箱施用剤と水面施用剤、出穂前の茎葉処理剤による3回防除を基本とする。

2) 直播栽培共通

- 基本的に中干しは不要だが、過繁茂の場合は軽めに中干しを行い、その後間断かん水に移行する。
- いもち病防除を実施していないほ場では、出穂前に防除を実施する。
- 紋枯病の多発が予想される場合は、薬剤防除を実施する。
- イネネットムシ(イチモンジセセリ)は、7月下旬から8月上旬に発生しやすいので、ほ場内を見回り発生が多い場合には防除を実施する。
- 斑点米カメムシ類は、穂揃期とその7～10日後の2回防除を基本とする。

< 次回: 令和7年8月上旬予定 >